

学校教育推進室だより

東大阪市教育局 学校教育推進室 令和8年8月28日
〒577-8521 東大阪市長本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

重点目標

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

「探究と対話」をもとに学び続ける教職員へ

信頼に応える学校園づくり

学校園・家庭・地域の協働

東大阪市キャリア教育研修

令和8年7月29日(水)、今年度も市立学校園に勤務する教職員を対象に、『東大阪市キャリア教育研修～地尊感情を育むフィールドワーク～』が行われました。この研修は、市内の製造企業を見学することで、東大阪の良さや魅力を実感し、地域の教育資源として「モノづくり」を捉え、各小学校での町工場見学、中学校での職場体験学習等の推進に係る具体的な手立てを学ぶことを目的としています。今年度は、『株式会社SKB』さんにご協力いただき、企業説明や工場見学、企業としての人材育成等に関する講演やワークを実施していただきました。

株式会社SKB



1970年に創業、新関西ベアリング株式会社を設立、のちに現在の株式会社SKBへと発展。「できないものはない、やらないものはない」を信念に、主に建築用の機能金物を製造。製品の一つである「ルームクローザー」は多くのメーカーに採用され、住宅や病室などでの安心と快適に貢献されている。

現在に至るまで、協会社とのつながりを大切にしながら、自社製品および相手先ブランド製品の開発・生産を続けている。



研修の様子と流れ

研修当日は、総務部長より「会社概要・企業理念」「働きがい賞」「新人教育」等の説明、開発部長より「開発事例」「身近な製品の開発ストーリー」等の紹介をしていただきました。後半は、各部門の担当者から詳しい解説を踏まえた工場見学や、『5S（整理、整頓、清潔、清掃、しつけ）』の体験型ワークをさせていただきました。説明いただいた担当者の方が、本研修参加者の教え子というサプライズもあり、研修内容だけでなく、教え子の成長も感じた大変有意義な研修であったとの感想が多くありました。



参加者の感想（アンケートより一部抜粋）

- ・実際の職場を見学でき、仕事の大変さや開発の工夫などを知れて、生徒に還元できるものが多くありました。キャリア教育や社会科の授業で生かしていきたいです。
- ・東大阪がものづくりの町であることを実感できました。校内で共有し、地域にある工場に目を向け教材化していくことに取り組めたらと思いました。
- ・「困り事の発見」と「それを実現する技術」だけでなく、その真ん中に「使う人への思いやり」が大事と聞いて、その通りだと思いました。
- ・近所にこんなすごい企業があることを知り驚きました。新幹線の乗務用扉ハンドルのシェアが100%であるということや、様々な理念や活動の工夫に隠された意図が隅々まで計算されていることにも驚きました。SKBの使命とされている「くらしの快適と安心」「ものづくりの喜び」から生まれる製品の数々が素晴らしいと思いました。
- ・「安心・安全」「5S」など、学校とつながることが一般企業にも同じようにあることがよくわかりました。逆に考えると子どもたちが学校で日々学び、積み重ねてきた力が大人になってもしっかりと活用されていることで、学校での地盤づくりの重要さにも気づかされました。



Summer English Village

(夏休み英語村)

7月28日(火)29日(水)に、東大阪市立勤労市民センターにて『Summer English Village』を開催しました。『English World EXPO』をテーマに、ALT(外国語指導講師)と英語でやりとりをしながら、各国の食べ物やスポーツの英語の表現を学んだり、外国の様々な文化を体験したりしました。今年度は小学校6年生と中学校1～3年生を対象に実施し、小学生78名、中学生50名の参加がありました。積極的にALTとやりとりし、コミュニケーションを楽しむ様子が見られました。



《児童・生徒の感想より》

○色々な国の文化を、楽しく学べる事ができて良かったです。普段あまり縁のない国のことを知れて楽しかった。
(小学生)

○最初は自分のことを初めての人に伝えられるかが心配でしたが色々な人がサポートしてくださったおかげで、英語で伝えることができました。もっと英語の勉強を頑張りたいと思いました(中学生)

《小学校6年生》

～英語を使ってやりとりし、世界のワクワクを見つけよう～



〔オリジナルハロハロを作ろう〕
(フィリピン)



〔どのスパイスが好きかな?〕
(インド)

《中学校1～3年生》

～世界とつながり、自分のメッセージを伝えよう!～



〔アメリカのスポーツに触れよう〕
(アメリカ)



〔動物と自然を知ろう〕
(ケニア)



専門家派遣指導による

中学校・高等学校 音楽クラブ活性化推進事業

関西フィルハーモニー管弦楽団の専門家派遣による音楽クラブ活性化推進事業は、今年度で13年目を迎えます。3年間を1つのサイクルとして、市立中学校及び日新高等学校を巡回していただいております。今年度は、花園中、金岡中、長瀬中、布施中、英田中、上小阪中、くすは縄手南校後期課程、池島学園後期課程、日新高等学校の9校が対象です。

はじめは緊張していた生徒たちも、先生方の優しい声掛けと楽器の手入れの仕方や持ち方、指使いなど、基本的なことから細かく教えてくださったことにより、その指導に引き込まれ、集中して取り組む様子が見られました。



(写真：英田中学校)



日頃の練習で困っている課題について、先生方は生徒の話をしっかりと聞かれた上で的確にアドバイスを送られていました。そのアドバイスに対し「とても斬新で驚かされることばかりでした。これから自分の音をどう作っていかうワクワクしています」や「苦手だったフレーズが少しスムーズに吹けるようになり、楽器を鳴らす楽しさを改めて実感しました」など。新しい気づきや、成長の手応えをつかめたことに喜ぶ感想が多くみられました。